

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【公開番号】特開2009-178361(P2009-178361A)  
 【公開日】平成21年8月13日 (2009.8.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-032  
 【出願番号】特願2008-20417(P2008-20417)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/10 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 6/10 3 5 5

A 6 1 B 6/00 3 1 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作部及び X 線撮影部を含む本体と、被検体に照射する X 線を発生する X 線発生装置と、この X 線発生装置を支持する支持装置と、移動台車とを備えた移動型 X 線撮影装置において、

前記移動台車の進行方向の障害物及び該移動台車が通る通路の幅を確認する障害物及び通行幅確認手段を備えたことを特徴とする移動型 X 線撮影装置。

【請求項 2】

前記障害物及び通行幅確認手段は、前記移動台車が移動する進行方向に照射するレーザー光を発生する可視光レーザー照射手段と、この可視光レーザー照射手段から照射されるレーザー光を操作するレーザー光操作手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 3】

前記可視光レーザー照射手段を前記移動台車の両端に備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 4】

さらに前記可視光レーザー照射手段を上下に移動させる上下移動手段と、該上下移動手段を操作する上下移動操作手段とを備えたことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 5】

前記障害物及び通行幅確認手段は、前記移動台車の車幅指示ラインが書き込まれてその他の部分は透明である透明パネルを前記本体に備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 6】

前記障害物及び通行幅確認手段は、前記移動台車の車幅指示ラインが書き込まれたレンズと該レンズを覗く覗き窓とによる覗き手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 7】

前記障害物及び通行幅確認手段は、前記移動台車が移動する進行方向を撮影する撮影手段と、前記移動台車の車幅指示ラインが書き込まれ、この車幅指示ラインと前記撮影手段で撮影された画像とを表示する画像及び車幅指示ライン表示手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 8】

前記撮影手段は CCD カメラであって、前記 X 線発生装置を支持する支持装置で前記 CCD カメラを支持し、前記画像及び車幅指示ライン表示手段を前記操作部に備えたことを特徴とする請求項 7 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 9】

前記障害物及び通行幅確認手段で前記通路幅の領域に障害物を確認したことを報知する障害物確認報知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 10】

前記障害物確認報知手段は、音声又は表示器による手段であることを特徴とする請求項 9 に記載の移動型 X 線撮影装置。

【請求項 11】

さらに前記移動台車走行中に前記障害物及び通行幅確認手段で障害物を確認した場合、自動的に移動台車の速度の制限及び / 又は停止させる速度制限停止手段を備えたことを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の移動型 X 線撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(2)前記障害物及び通行幅確認手段は、前記移動台車が移動する進行方向に照射するレーザー光を発生する可視光レーザー照射手段と、この可視光レーザー照射手段から照射されるレーザー光を操作するレーザー光操作手段とを備えた。